指定管理者による管理運営の実施状況報告

1 施 設 名: 福岡県緑化センター

2 指定管理者名: 公益社団法人福岡県樹芸組合連合会

3 指 定 期 間: 平成29年4月1日~令和4年3月31日

4 施設設置目的: 県民に対する緑化思想の普及及び啓発並びに緑化技術の指導等を行い、もって緑化の推進を図る。

5 管理運営についての点検結果(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

(2) 点検結果 : 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画(取り組みや改善の内容等)	管理運営の概要
①公共性(公益性)の確保	・施設の設置目的を最大限に発揮するため「緑の体感」「緑の学習」「緑の普及啓発」をキーワードに、団体の有する技術を活かして管理運営を行う。	・ 施設の設置目的を十分に理解しており、利用者に対して均等なサービスを 提供している。
	・「緑の相談員」の配置やホームページへのQ&A掲載など、緑化に関する各種相談に対応する。	・ 開館時間帯は常時 1 名以上の窓口職員を配置するほか、毎週日曜日に「緑の相談員」を配置し、相談事例はブログにより情報発信に努めている。 ・ 講習会やイベントではアンケートを実施するなど、利用者の意見を収集して運営の改善に努めている。
②施設利用及びサービス向上	・ホームページや市町村広報誌等により、各種イベントや講習会の開催情報などの周知を図る。	・新聞・テレビ・ラジオによるイベント紹介への取材協力により、施設の新着情報を発信しPRに努めている。 ・ホームページやブログ、「緑化センターだより」により、施設の最新情報 や緑化相談回答集を提供しPRに努めている。
	・各種イベントを開催するとともに、地域のイベント と連携して施設の活用を図る。	・グリーンフェスティバル(5/13)、梅の実収穫体験会(5/29)、秋の音楽会(10/14)、お茶会(11/17)、 秋のまち旅(10/18、10/21)、アロマ蒸留会等の香りの企画(5/8、9/4、3/2)の開催の他、田主丸オープンガーデン(4/7~8、 4/29~5/6)、くるめつつじまつり(4/7、4/21)、山苞の道(11/3)、田主丸かっぱウォーク(11/3)、耳納の市(11/17~18)など地域とも連携したイベントを開催し、施設の利用促進に努めている。 H30年度:21回(提案内容:14回)
	・ 利用者ニーズの把握と対応を行い、サービスを向上する。	・ロビーの改修を行い季節展示等を実施。また、施設にWi-Fiを設置し、利用者の利便性の向上に努めている。
		利用者数: 69,669人 (対前年度▲15.5%、対H17年度(制度導入前)+2.7%) ※雨天により「グリーンフェスティバル」等の来場者数が大幅に減少した ため、利用者数は前年度と比較して減少している。
③経営(収支)改善	・ 管理運営等を工夫し、経費の節減を図る。	 緑地管理の一部を直営とし、経費の削減に努めている。 指定管理料実績:38,992千円 (前年度:38,690千円 対前年度+0.8%) (対H17年度(制度導入前)▲17.6%、消費増税分を除く)

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画(取り組みや改善の内容等)	管理運営の概要
④職員確保方策及び 健全な財政基盤	・緑化木管理等に精通した職員を中心とした人員配置とする。	・緑化木管理等に精通した人材を配置しており、その他専門職員を必要とす る場合は適時適切に対応している。
⑤施設管理上の個別事項	・緑の教室など各種講習会を開催する。	・緑の教室や緑化講習会、講師派遣講習会等の各種講習会を開催し、緑化技 術の普及啓発に努めている。 H30年度:72回(提案内容:59回) (受講生2,497人、対前年度▲15.6%)
	・「福岡県個人情報保護条例」に基づき保護する。	・ 「福岡県個人情報保護条例」を遵守し、「福岡県緑化センター個人情報取 扱規則」により対応している。
	・ 住民からの情報公開等に適切に対処する。	「福岡県緑化センターの情報公開の推進に関する規程」に基づき、情報公開に対応している。
	・損害賠償責任保険に加入する。	・損害賠償責任保険に加入している。

②点検結果

	【総合コメント】
A+ (提案内容を上回った)	・本施設の設置目的を十分に理解して、事業計画に基づき、緑を感じ・緑を学び・緑を広める場として の適切な施設管理を行い、公共性の確保に努めている。
A (提案内容をやや上回った)	・利用者の意見に基づき、運営の改善に努めている。 ・ホームページや「緑化センターだより」等により施設の最新情報を発信しPRに努めている。
O B (概ね提案内容どおり)	・雨天により「グリーンフェスティバル」等の来場者数が大幅に減少したことなどから、利用者数は前年度と比較して減少しているが、イベントは提案回数より約5割、各種講習会は提案回数より約2割増えており、施設の利用促進及びサービス向上に努めている。
C (提案内容をやや下回った)	・管理運営等を工夫し、経費の節減に努めている。・「森林及び緑に関する有資格者」を適宜配置し、本会の応援体制も機能している。・個人情報保護や情報公開について適切な対応に努めている。
D (提案内容を下回った)	以上から総合的に判断した結果、概ね提案内容どおりの管理運営である。